

東川町が目指す

適

の
ま
ち
づ
く
り

疎

10/27 (Fri) ~ 10/28 (Sat)

費用 10,000円 (L会員)

定員 25名 (先着順)

会場 東川町複合交流施設せんとぴゅあ I

対象 地域づくりに興味のある方

学びのポイント

人口増の背景

独自の公共投資モデル

財源確保と投資回収

人・自然・文化の調和

東川町は北海道のほぼ中央に位置し、過密でも、過疎でもない「適疎」をコンセプトにまちづくりを進める、人口約8,500人の自然豊かな町です。北海道の小さな町ながら、25年で約2割の人口が増加したことで注目を浴びています。1985年、写真の町宣言による文化のまちづくりをスタートし、これまで市町村合併を選択せず、公共投資や文化振興、産業振興子育て支援など、住民の幸福度アップを目指して独自のまちづくりを進めています。本実践塾では、人口増加の背景やポイントを東川町独自の資源を活かして展開する施策やフィールドワークを通して学びます。



横浜商科大学商学部 商学部長 教授

小島 敏明 氏

民間会社において、新規事業や地域開発、広報PR施設、公共施設などの調査・企画、コンサルティング業務を行う。現在、横浜商科大学、慶應義塾大学において教育研究活動に従事するとともに、「場」を起点とした社会的インパクト評価に関する調査研究を進める。主な著書は、「東川スタイル～人口8000人のまちが共創する未来の価値基準」(編著)、地方創生カレッジ・eラーニング講座「066:移住と定住」など。



東川町長
菊地 伸氏

1967年生まれ。1992年 東川町奉職。企画総務課長、東川スタイル課長、産業振興課長を経て、2023年に退職。同年、東川町長に就任。現在1期目。北海道のてっぺん・大雪山連峰「旭岳」を擁する自然豊かな町で、清らかな水、澄んだ空気、肥沃な大地、美しい景観、そして人と人とのつながりを大切にしながら、全ての町民と「共に」、町の良さの魅力・将来を考えながら「東川らしい」まちづくりに取り組んでいる。

ア ク セ ス

羽田空港から町まで約2時間
旭川空港から町まで約10分
旭川駅から町まで約30分

○開催までに

・事前学習(動画配信)

○10月27日(金) 13:00~17:00

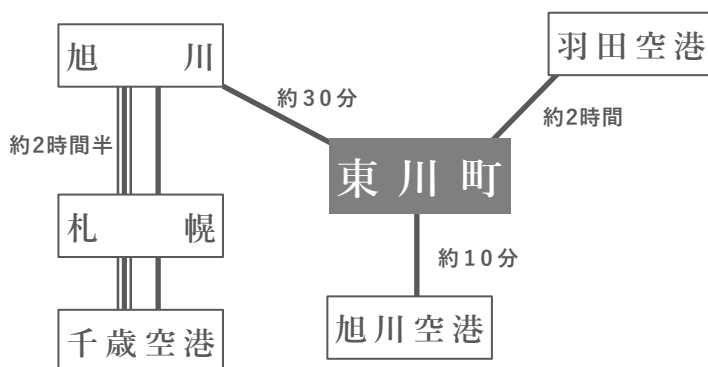
13:00~ 開講式/オリエンテーション
13:30~ 町内視察

- ①東川町複合交流施設せんとぴゅあ
- ②キトウシの森
- ③北の住まい設計社
- ④東川町立東川小学校
- ⑤東川町共生プラザそらいろ
- ⑥東川町文化ギャラリー
- ⑦KAGUの家
- ⑧道の駅ひがしかわ『道草館』

15:00~ グループワーク「東川のなぜ」
18:00~ 交流会

○10月28日(土) 9:00~15:00頃

9:00~ 初日の振り返り
9:30~ 特別講師 講演/トークセッション
11:30~ 昼食/自由散策
12:30~ グループワーク
14:30~ まとめ
15:00~ 閉校式



申 込 ・ 問 合 せ



申込みフォーム

左のコードからHPへアクセス

問合せ

(一財) 地域活性化センター
見上・石倉・末廣・清水

☎ 03-5202-6133
✉ seminar@jcrd.jp

注 意 事 項

- ◆実践塾の受講は、地域活性化センターの個人賛助会員が受けるサービスの一環のため、賛助会員になっていただく必要があります。
※プレミアム・プラチナ・シルバー会員は事前にお知らせください。
- ◆開催日3日前以降のキャンセルによる返金はできません。
- ◆開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代等をご負担ください。
- ◆感染症や天災により延期や中止となる場合があります。
- ◆体調不良や発熱等の症状がある方は参加をご遠慮いただきます。